

平成20年12月22日

北アルプス広域連合長 牛越 徹 殿
白馬村村長 太田 紘熙 殿

ごみ処理施設を考える名鉄の会
代表 長谷川 恒信

飯森地区ごみ処理施設建設に関する 住民アンケート調査実施に対する抗議書

北アルプス広域連合が計画するごみ処理施設の建設候補地を飯森地区に決定したことに
関して、北アルプス広域連合は1巡目の説明会で、計画の推進には地元住民の同意が必要
であること、周辺地域の理解を得て計画を進めるとたびたび明言してきた。また北アル
プス広域連合は、地元行政区である飯森地区の名鉄地域の住民に対してこれまで4回の
説明会を行なったが、毎回地域住民は本計画に反対の意思を表明し、その撤回を強く
求めた。さらに名鉄の会から3回にわたって質問書を提出したが納得できる説明はな
く、地域住民としていまだ計画を理解すに至っていない。しかも昨年8月1日の説明
会で提出した質問書に対する回答は11ヶ月経過した本年7月11日であり、本年8
月11日付の質問書に対しては4ヶ月経過した現在まで回答がなく、全く誠意が見
られず理解を求める姿勢が見られない。しかるに地元行政区の飯森地区住民である
名鉄地域住民の同意無しに、また理解を得るに至っていないのに、飯森地区建設を
前提にした全村民を対象としたアンケート調査を実施しようとしているのは、前言
を反故にするものであり容認できない。下記の理由でアンケート調査に強く抗議し
実施の撤回を求めるとともに、2週間以内に誠意ある回答を求める。

1. 地元地区の同意を得ていないのに、飯森地区建設を前提にした全村民アンケート調査
を実施することは前言を反故にするものであり、また地元地区住民の意思を無視する
ものであり、許容できない。アンケート調査実施の撤回を求める。
2. 周辺地域住民の理解を得て進めると度々明言しながら、質問書に対して納得でき
る回答をすることなくアンケート調査の実施に踏み切るのは、前言を反故にするもの
であり、許容できない。アンケート調査実施の撤回を求める。
3. 我々は、飯森地区建設に同意せずまた理解もしていないことを、ここに改めて表明す
るとともに、地元地区として建設計画の撤回を強く求める。
4. 生活環境影響調査をはじめとする建設計画の実施は、地域住民の同意と理解を得てか
ら実施することを改めて約束することを求める。
5. 本年8月11日付の質問書に回答することを求める。まずは回答期限の提示を求める。
また引き続き住民から提出される質問に対して、誠意を持って対応することの約束を
求める。
6. 平成20年10月20日白馬村議会全員協議会に於いて、村長が「飯森区は、飯森区とし
ての表決はとらないと。白馬村の意向に賛成するということでの理解をさせていただきました」と
発言しているが、飯森地区の我々は一度もそのような発言はしていない。全く虚偽の
発言であり、行政の長の発言として許容できない。発言の撤回を求める。

以上